

2020年度第3四半期決算について

2021年2月10日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、本日、2020年度第3四半期（2020年4月1日～12月31日）の連結業績についてとりまとめました。

連結の経常損益は、グループ全社を挙げた継続的なコスト削減に努めたものの、競争激化や新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、東京電力グループの販売電力量が、前年同期比8.8%減の1,502億kWhとなったことなどから、前年同期比24.0%減の2,355億円の利益となりました。

また、特別損失に原子力損害賠償費954億円を計上したことや、前年度に計上した特別利益の反動減などから、親会社株主に帰属する四半期純損益は、前年同期比70.0%減の1,304億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当第3四半期 (A)	前年同期 (B)	比較	
			A-B	A/B (%)
売上高	41,039	46,379	△ 5,340	88.5
営業損益	1,527	2,471	△ 944	61.8
経常損益	2,355	3,099	△ 743	76.0
特別損益	△ 954	1,618	△ 2,573	-
親会社株主に帰属する 四半期純損益	1,304	4,348	△ 3,043	30.0

【セグメント別の経常損益】

2020年度第3四半期のセグメント別の経常損益については、以下のとおりです。

- 東京電力ホールディングス株式会社の経常損益は、基幹事業会社からの受取配当金の減少や東京電力エナジーパートナーへの卸電力販売の減少などにより、前年同期比1,141億円減の70億円の利益となりました。
- 東京電力燃料&パワー株式会社の経常損益は、株式会社JERAにおいて、燃料費調整制度の期ずれ影響や発電事業の収支が好転したことなどにより、前年同期比210億円増の834億円の利益となりました。
- 東京電力パワーグリッド株式会社の経常損益は、新型コロナウイルスの感染拡大によるエリア需要減があったものの、減価償却費の減少などにより、前年同期比82億円増の1,836億円の利益となりました。

- ・東京電力エナジーパートナー株式会社の経常損益は、競争激化や新型コロナウイルス感染拡大等で売上高が減少したことなどにより、前年同期比 466 億円減の 79 億円の利益となりました。
- ・東京電力リニューアブルパワー株式会社の経常損益は、東京電力エナジーパートナーへの卸電力販売の増加などにより、前年同期比 169 億円増の 441 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当第3四半期 (A)	前年同期 (B)	比較	
			A-B	A/B (%)
経常損益	2,355	3,099	△ 743	76.0
東京電力ホールディングス	70	1,211	△ 1,141	5.8
東京電力フュエル&パワー	834	623	210	133.8
東京電力パワーグリッド	1,836	1,753	82	104.7
東京電力エナジーパートナー	79	546	△ 466	14.6
東京電力リニューアブルパワー	441	271	169	162.4

以上

【本件に関するお問い合わせ】
 東京電力ホールディングス株式会社
 広報室 報道グループ 03-6373-1111 (代表)

2020年度第3四半期決算概要

2021年2月10日

東京電力ホールディングス株式会社

【2020年度第3四半期決算のポイント】

- **売上高**は、競争激化や、新型コロナウイルス感染拡大の影響で販売電力量が減少したことなどにより減収
- **経常損益**は、グループ全社を挙げた継続的なコスト削減に努めたものの、売上高が減少したことなどにより減益
- **四半期純損益**は、前年度特別利益の反動減などにより減益

1. 連結決算の概要

(単位: 億kWh)

	2020年4-12月	2019年4-12月	比較	
			増減	比率(%)
販売電力量(連結)	1,502	1,647	△ 145	91.2

(単位: 億円)

	2020年4-12月	2019年4-12月	比較	
			増減	比率(%)
売上高	41,039	46,379	△ 5,340	88.5
営業損益	1,527	2,471	△ 944	61.8
経常損益	2,355	3,099	△ 743	76.0
特別損益	△ 954	1,618	△ 2,573	—
親会社株主に帰属する 四半期純損益	1,304	4,348	△ 3,043	30.0

2. セグメント別のポイント

【東京電力ホールディングス（HD）】

- 経常損益は、基幹事業会社からの受取配当金の減少や東京電力EPへの卸電力販売の減少などにより**減益**

【東京電力フュエル＆パワー（FP）】

- 経常損益は、JERAにおいて燃料費調整制度の期ずれ影響や需給収支が好転したことなどにより**増益**

【東京電力パワーグリッド（PG）】

- 経常損益は、新型コロナウイルス感染拡大によるエリア需要減があったものの、減価償却費の減少などにより**増益**

【東京電力エナジーパートナー（EP）】

- 経常損益は、競争激化や新型コロナウイルス感染拡大等で売上高が減少したことなどにより**減益**

【東京電力リニューアブルパワー（RP）】

- 経常損益は、東京電力EPへの卸電力販売の増加などにより**増益**

3. セグメント別の概要

(単位: 億円)

	2020年4-12月	2019年4-12月	比較	
			増減	比率(%)
売上高	41,039	46,379	△ 5,340	88.5
東京電力ホールディングス	3,647	※ 4,536	△ 888	80.4
東京電力フュエル&パワー	58	65	△ 6	89.3
東京電力パワーグリッド	12,924	12,882	+ 42	100.3
東京電力エナジーパートナー	36,143	42,122	△ 5,978	85.8
東京電力リニューアブルパワー	1,099	※ 942	+ 156	116.6
調整額	△ 12,835	※ △ 14,168	+ 1,333	—
経常損益	2,355	3,099	△ 743	76.0
東京電力ホールディングス	70	※ 1,211	△ 1,141	5.8
東京電力フュエル&パワー	834	623	+ 210	133.8
東京電力パワーグリッド	1,836	1,753	+ 82	104.7
東京電力エナジーパートナー	79	546	△ 466	14.6
東京電力リニューアブルパワー	441	※ 271	+ 169	162.4
調整額	△ 906	※ △ 1,307	+ 401	—

※ 当期との比較のため、前年4-12月はHD-RP間で値を組み替えている

4. 連結特別損益

(単位: 億円)

	2020年4-12月	2019年4-12月	比較
特別利益	-	※2 3,672	△ 3,672
特別損失	※1 954	※3 2,053	△ 1,098
原子力損害賠償費	954	819	+ 135
その他	-	1,234	△ 1,234
特別損益	△ 954	1,618	△ 2,573

※1 原子力損害賠償費における出荷制限指示等による損害や風評被害等の見積り増など

※2 持分変動利益、災害損失引当金戻入額、原賠・廃炉等支援機構資金交付金

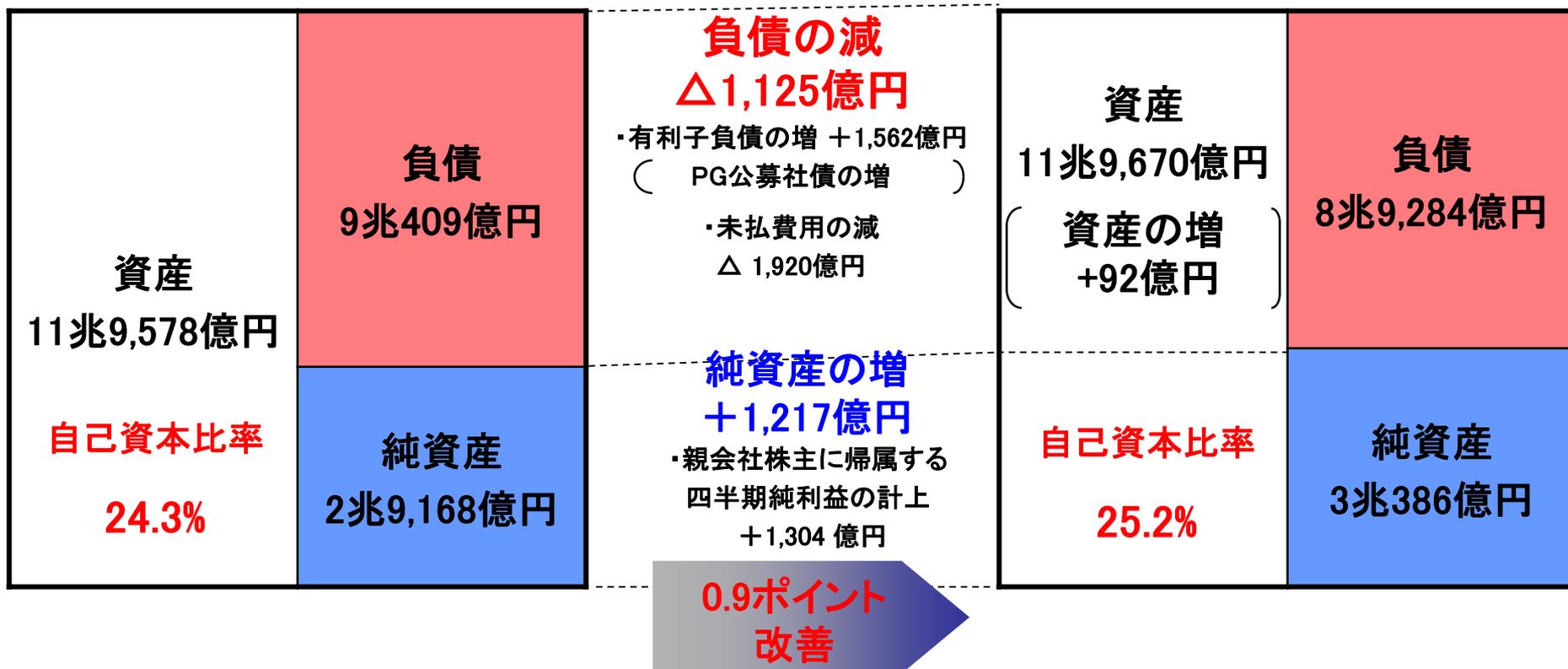
※3 福島第二廃止損失、原子力損害賠償費、災害特別損失、財産偶発損

5. 連結財政状態

- 負債残高は、有利子負債が増加した一方、未払費用の減少により1,125億円減少
- 純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより 1,217億円増加
- 自己資本比率は、0.9ポイント改善

2020年3月末 BS

2020年12月末 BS



エリア需要

(単位: 億kWh)

	2020年4-12月	2019年4-12月	比較	
			増減	比率(%)
エリア需要	1,936	1,986	△50	97.5

為替/CIF

	2020年4-12月	2019年4-12月	増減
為替レート(インターバンク)	106.1 円/ドル	108.7 円/ドル	△2.6 円/ドル
原油価格(全日本CIF)	39.0 ドル/バーレル	67.8 ドル/バーレル	△28.8 ドル/バーレル

(参考) 連結前年同期比較 ① ～増減図～

経常損益

(単位: 億円)

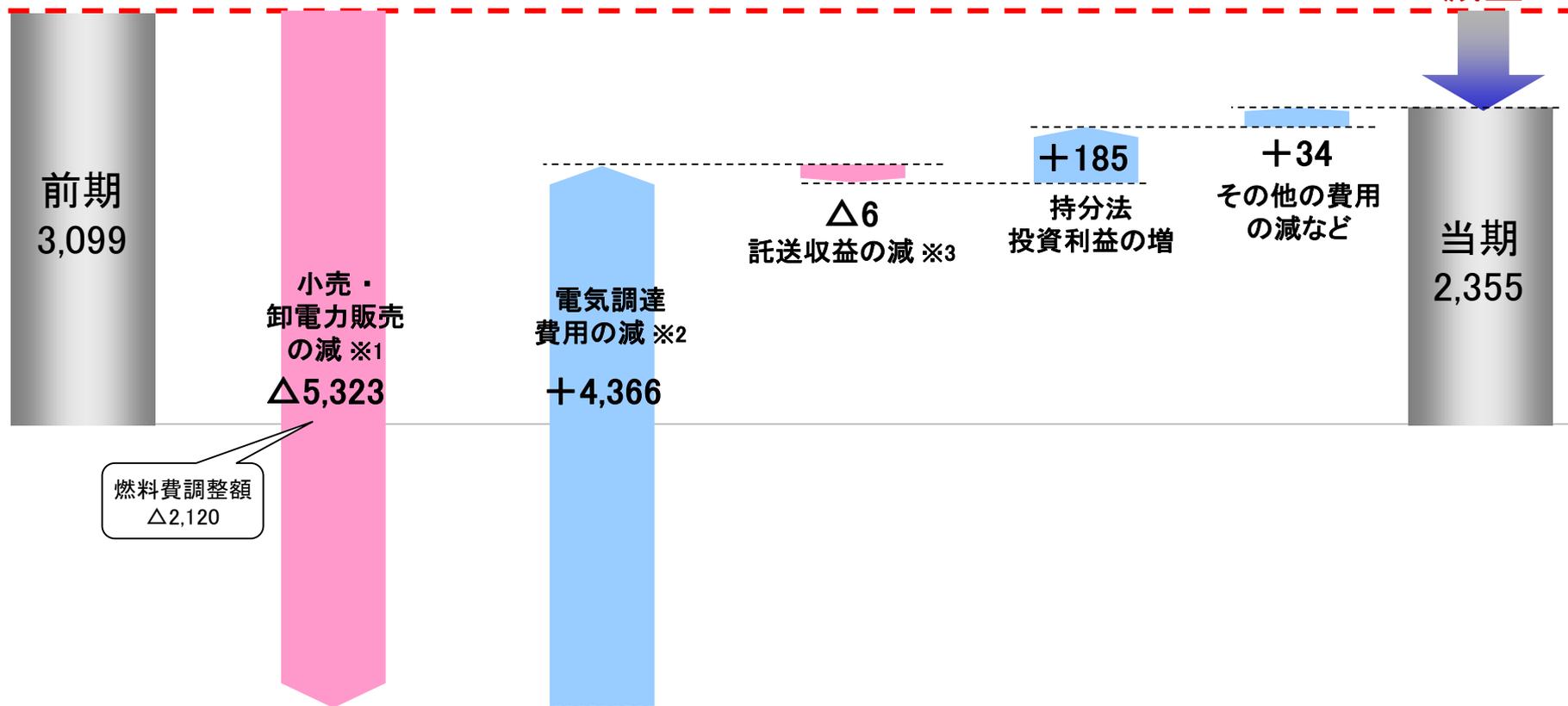
需給・託送収支 $\Delta 963$

その他経常収支 $+219$

販売関連(再エネ控除後)

エリア需要関連

743億円
減益



※1 小売・卸電力販売は間接オークションによる影響を含んでおり、託送費用(インバランスを除く)影響を控除している

※2 電気調達費用は間接オークションによる影響を含んでいる

※3 託送収益はグループ内取引を含み、インバランス収支の影響を除いている

(参考)連結前年同期比較 ② ～数表～

(単位:億円)

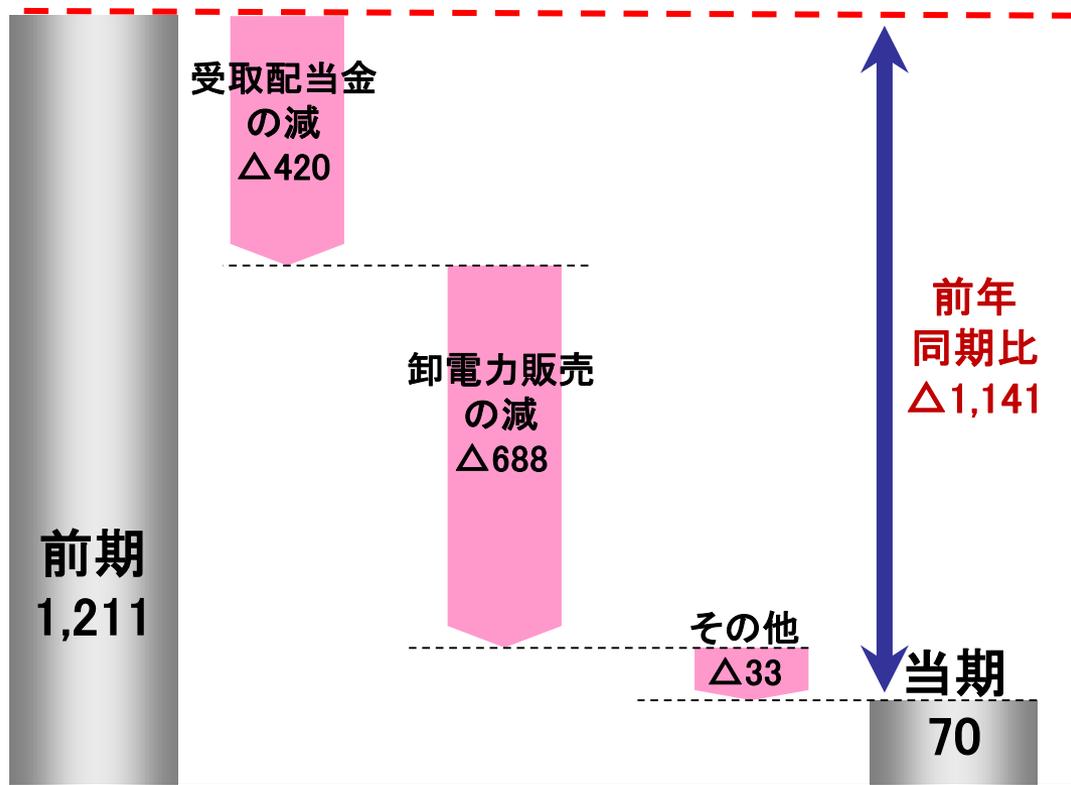
	2020年4-12月	2019年4-12月	増減
経常利益	2,355	3,099	△743
需給・託送収支	13,208	14,172	△963
小売・卸電力販売	19,703	25,026	△5,323
(△) 電気調達費用	△16,754	△21,120	+4,366
託送収益 ※	10,260	10,266	△6
その他経常収支	△10,852	△11,072	+219
持分法投資利益	1,180	995	+185
(△) 減価償却費	△2,978	△3,054	+76
(△) 設備関係費	△1,808	△1,739	△69
その他	△7,246	△7,274	+26

※ 託送収益はグループ内取引を含み、インバランス収支の影響を除いている

(参考) HD前年同期比較

経常損益

(単位:億円)



収支構造

収益は、配当収入や廃炉等負担金収益、経営サポート料や原子力の卸電力販売など

経常損益

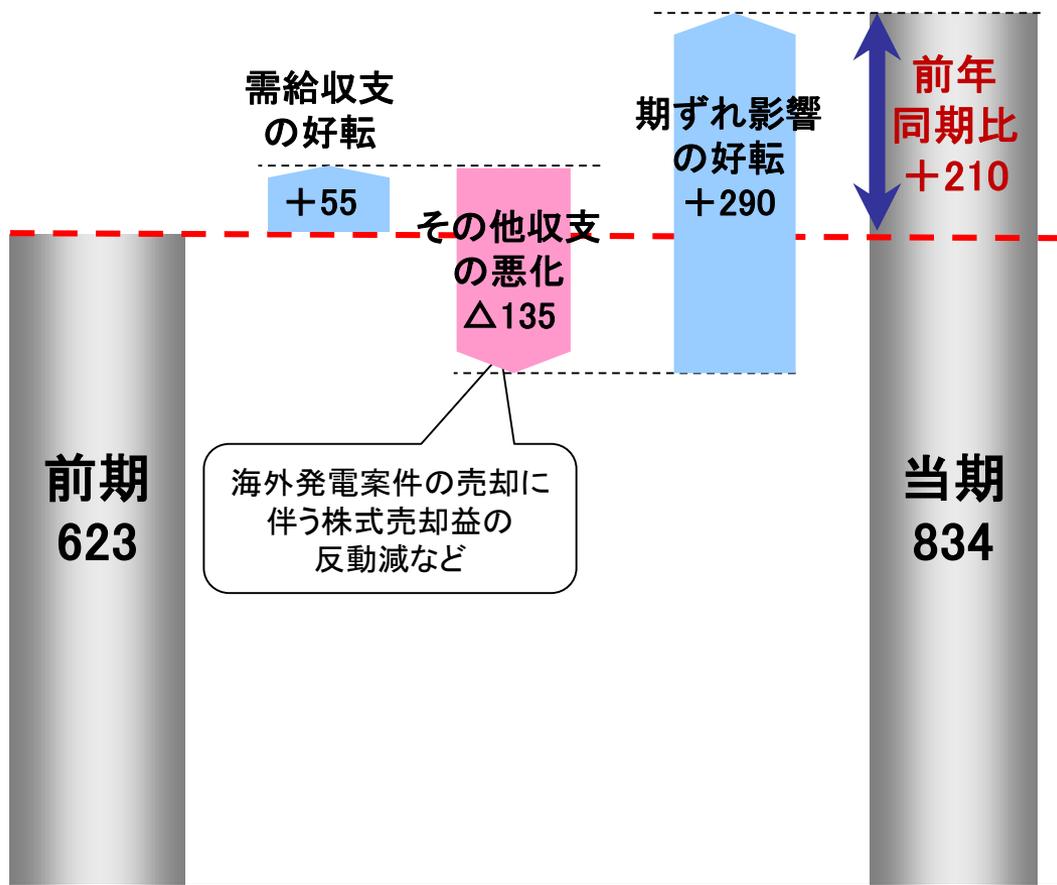
(単位:億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	※ 1,482	795	$\Delta 687$
4-9月	※ 1,442	633	$\Delta 809$
4-12月	※ 1,211	70	$\Delta 1,141$
4-3月	1,529		

※ 当期との比較のため、前年4-6、4-9月、4-12月はHD-RP間で値を組み替えている

経常損益

(単位:億円)



収支構造

主な利益はJERAの需給収支などによる持分法投資損益

期ずれ影響(JERA持分影響) (単位:億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-12月	+370	+660	+290

経常損益

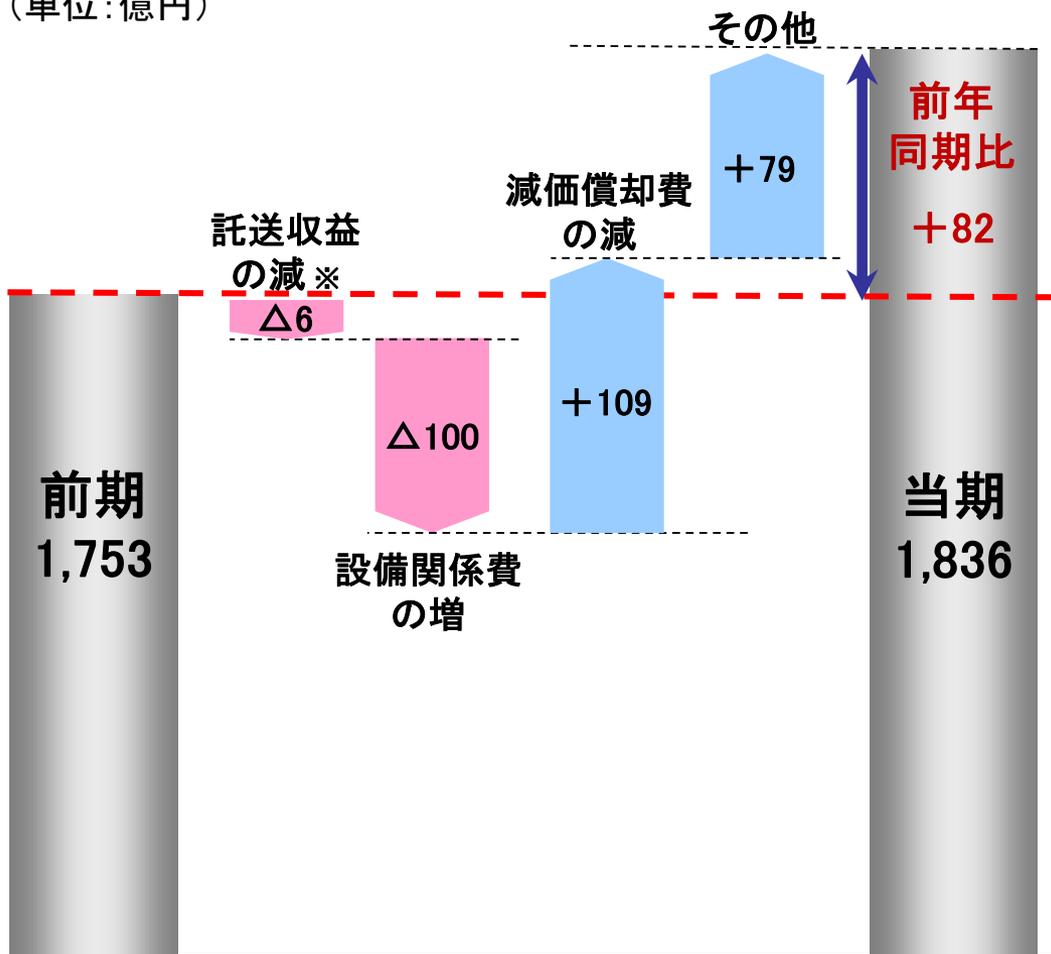
(単位:億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	458	92	$\Delta 365$
4-9月	584	453	$\Delta 131$
4-12月	623	834	+210
4-3月	647		

(参考) PG前年同期比較

経常損益

(単位:億円)



収支構造

売上は主に託送収益で、エリア需要によって変動。
費用は主に送配電設備の修繕費や減価償却費など

エリア需要

(単位:億kWh)

	2019年度	2020年度	増減
4-12月	1,986	1,936	Δ50

経常損益

(単位:億円)

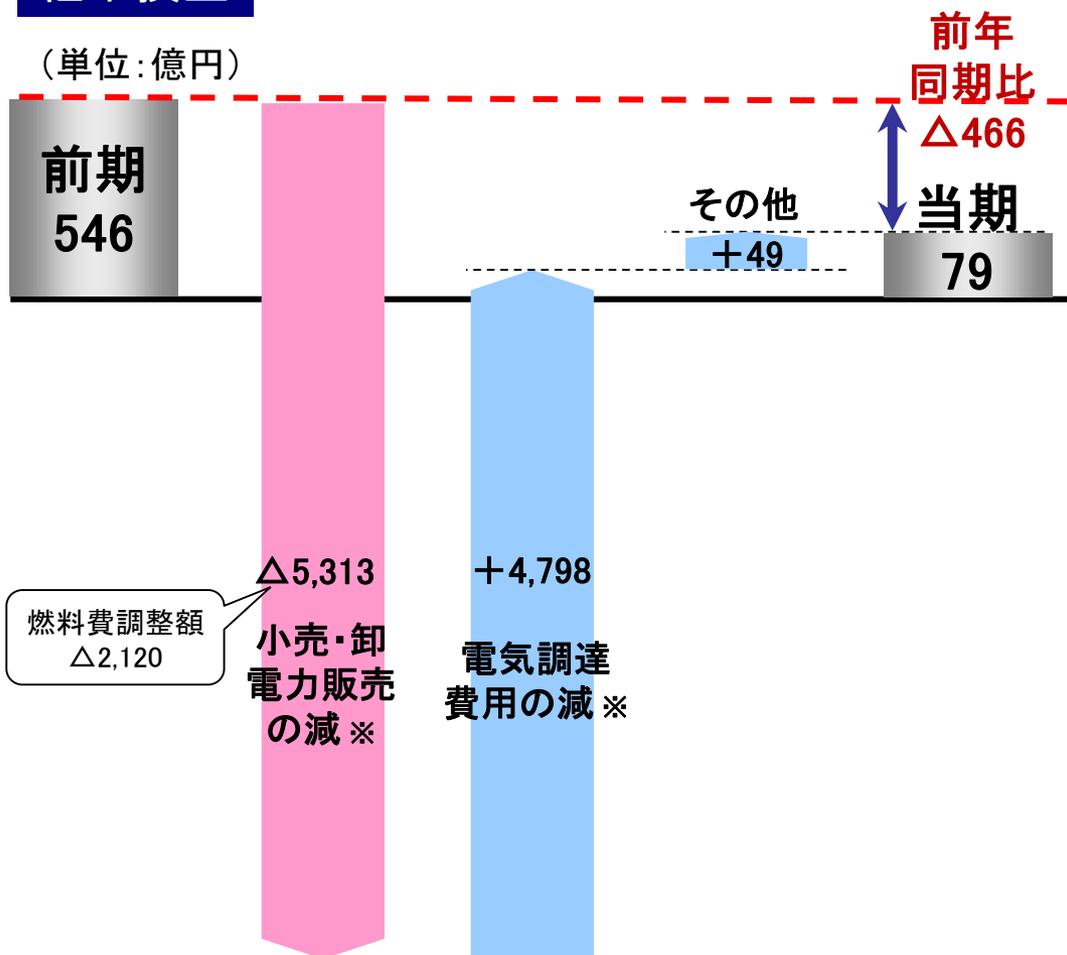
	2019年度	2020年度	増減
4-6月	426	407	Δ18
4-9月	1,199	1,238	+39
4-12月	1,753	1,836	+82
4-3月	1,166		

※ 託送収益はインバランス収支の影響を除いている

(参考) EP前年同期比較

経常損益

(単位:億円)



収支構造

売上は主に電気料収入で、販売電力量によって変動。費用は主に購入電力料や接続供給託送料など

販売電力量

(単位:億kWh)

	2019年度	2020年度	増減
4-12月	1,647	1,502	△145

ガス件数 (EP単体)

2020年3月末	2020年12月末
約113万件	約121万件

経常損益

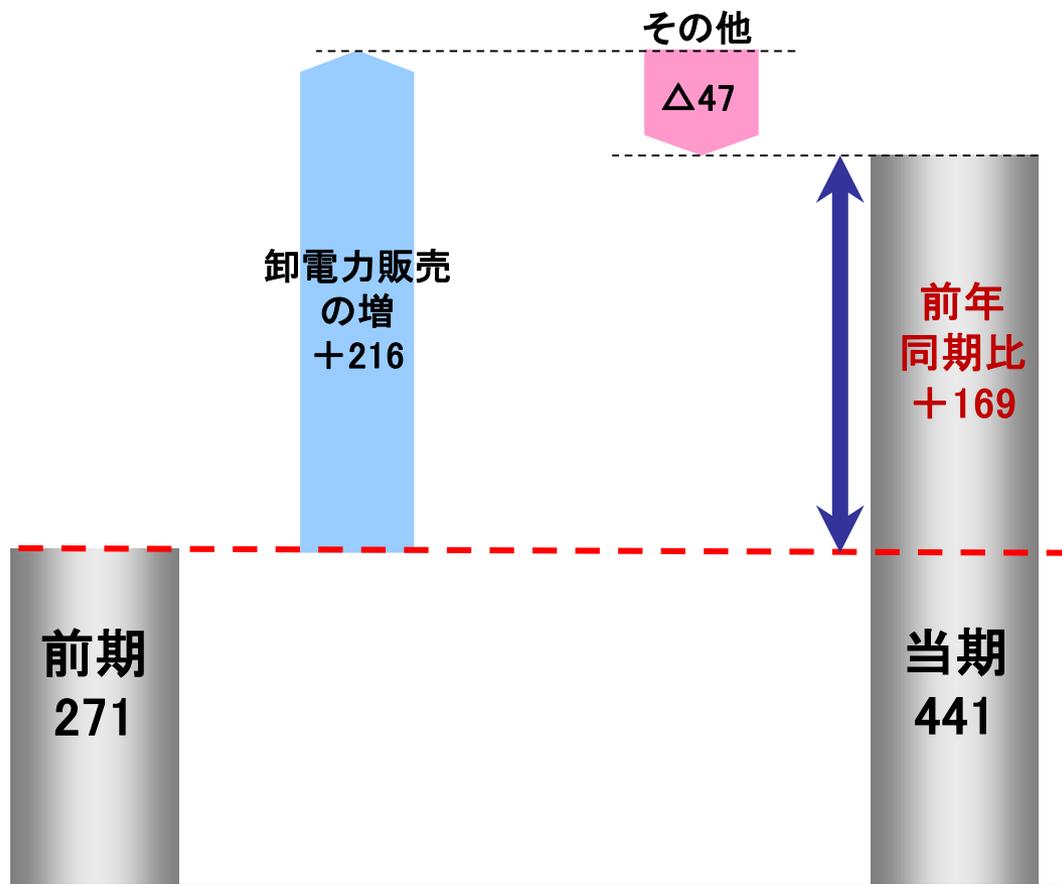
(単位:億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	△120	112	+232
4-9月	434	459	+24
4-12月	546	79	△466
4-3月	600		

※ 小売・卸電力販売、電気調達費用はともに間接オークションによる影響を含んでいる
託送費用はインバランスを除いた影響を小売・卸電力販売から控除し、インバランスの影響を電気調達費用に加えている

経常損益

(単位: 億円)



収支構造

収益の大部分は水力・新エネルギーの卸電力販売
費用は主に減価償却費や修繕費

出水率

(単位: %)

	2019年度	2020年度	増減
4-12月	104.4	99.6	$\Delta 4.8$

経常損益

(単位: 億円)

	2019年度	2020年度	増減
4-6月	※ 81	178	+96
4-9月	※ 181	367	+185
4-12月	※ 271	441	+169
4-3月	-	-	-

※ 当期との比較のため、前年4-6月、4-9月、4-12月はHD-RP間で値を組み替えている